

〈熊本支部例会事前抄録〉

日時：2022年2月22日（火）19：30～

会場：添島歯科クリニック研修室

－ 一般講演抄録 1 －

多発性の歯肉縁下カリエスを有する患者に対し咬合再構成を行った症例

やまだ歯科 山田宗敬 〒862-0963 熊本県熊本市南区出仲間 7-1-36

■抄録

不良補綴物や高いカリエスリスクなどが原因となり発生した歯肉縁下カリエスは抜歯の選択の根拠となりうる。インプラントによる咬合や審美の再建も可能となった現在では抜歯してインプラントによる補綴とすることも理があると考えられる。しかし、天然歯の持つ歯根膜感覚を保存する価値や患者の希望などによっては歯の保存に最大限の努力をするのも我々歯科医師の務めである。

今回多数歯に及ぶ歯肉縁下カリエスを有する患者に対しエクストルージョン、クラウンレングスニングを用い極力歯を保存し咬合再構成を行った症例を報告する。鬱病の治療中で歯科恐怖症の患者でもあったが、信頼関係を築き多部位に渡る外科処置も受け入れて頂いた。唯一保存不可能となってしまった部位に関してはインプラントで対応した。また、歯肉縁下カリエスの原因となった高いカリエスリスクに対しても多角的に対応し、カリエスリスクをある程度コントロールすることにも成功した。治療期間が3年半と長くかかってしまったが、現在プロビジョナルレストレーションから最終補綴装置に移行中である。

本演題に関して開示すべき利益相反状態はありません。